

## 古典 27 精神不安と婦人科系の症状に悩む中年女性

中年の女性、何人かの成長した娘たちの母親。

彼女は奇妙な精神的症状をもっており、彼女の夫によって説明されたその症状はもっとも重要なものであると思われた。

最初、彼女は精神的な不安から開放されることだけを望んでいて、彼女が長年苦しんでいた位置異常（訳注：おそらく子宮下垂、子宮脱など）については何も言わなかった。不安は夫の不在に対する恐怖から発生している：夫が自分のところに二度と戻ってこないのではないか、彼が死んでしまうのではないか、車に轢かれてしまうのではないか、という恐怖である。

その恐怖は彼女のなかでとても大きくなり、夫が不在の間はずっと泣いている。

彼女は位置異常で苦しんでいるということについては触れる気がまったくなかった。そして、ペッサリー（子宮圧定器）を装着していたが、自分の精神不安が彼女の位置異常に関係しているとはまったく考えていなかった。

しかし、症状を調べていくうちに、彼女が位置異常に関してかなり治療を受けていたことが明確になり、そのためにペッサリーを装着していることが判明した。

彼女はホメオパシーについては殆ど知らず、位置異常治療の専門家と平行して続けていけるものだと考えていた。

彼女は単純に、ホメオパシーが精神的なケースを扱うことができる場合もあると聞いたので、私のところに來たのだった。

私はペッサリーを外すべきだと強調し、外してもらった。

その後、彼女は何故それを装着するに至ったかということ、位置異常の性質について話してくれた。

ペッサリーは彼女がかかっていた医師によって注意深く処方されたものだった。

このケースのほかの症状は、精神症状が悪化するとともに、月経がおびただしくなり、血は黒く塊であるということ。

生殖器が極度に敏感で、通常のナプキンがつけられないほどだった。

彼女に選んだのは、RX。

精神的な症状を取り除くにはまったく十分なもので、それ以外の身体的な体質のサポートにも十分効果をもたらした。